

三重県支部

地方で活躍する中小企業診断士の実像

中小企業診断士という言葉聞いて、どんなイメージを思い浮かべますか。

税務相談をするなら税理士、法律相談をするなら弁護士とイメージしやすいのですが、中小企業診断士にどんな相談ができるのか事業者にとってイメージしにくいのが実情です。

中小企業診断士は経営コンサルタントに対する唯一の国家資格と言われていますが、中小企業診断士の資格がなくても経営コンサルタントとして多くの方が活躍されています。

税理士や弁護士と違い、独占業務がないため、よく言えば幅広く、悪く言えば少しとらえどころがない印象があります。

中小企業診断士は、経営全般に関わり扱う領域が広く、それぞれが得意とするジャンルが違ってきます。相談する側としても、中小企業診断士だからこの人に相談するというのではなく、あくまでもこの分野に強いコンサルタントというニーズに合わせて相談しているのが現状です。

とくに、中小企業診断士の数自体が少ない地方では、身近に中小企業診断士がおらず、事業者にとっては名前を聞いたことがあるという程度で、具体的にどんな活動をしているのか全然イメージできていません。三重県内のいわゆる士（さむらい）業に関わっている人数を調べても、中小企業診断士は弁護士なみの貴重な存在になっています。

そこで三重県支部では、地方を駆けずりまわりながら、中小企業の支援を行っている中小企業診断士にスポットをあて、支援内容の実態に迫ることを目的としました。

第1章「中小企業診断士とは」では、中小企業診断士とはどんな存在か、中小企業診断士になるための道、公共機関に所属する中小企業診断士が多いなど三重県ならではの特徴についてまとめています。

第2章「中小企業診断士の支援事例」では、中小企業診断士がふだん、どんな活動や企業支援を行っているのか物語風にご紹介します。会社名や登場人物は、すべて架空で、実在のモデルではありません。物語では企業の創業、融資、産業、技術、産官学、事業再生などさまざまな分野で中小企業診断士が活躍する姿を紹介しています。三重県での支援事例ですので、都内の高層オフィスで高級スーツを着こなし、かっこよく顧客対応しているような経営コンサルタントは出てきません。登場するのは、企業ニーズに必死に応えようと現場を駆けずりまわっている中小企業診断士ばかりです。

中小企業診断士は、中小企業の創業前から関わり、各自のネットワークや強みを活かしてさまざまな支援を行っています。事業がうまくいかなければ企業再生を行い、まさに中小企業のゆりかごから墓場までのあらゆるシーンに関わっています。

経営はもちろん経営者が行いますが、経営判断に迷ったとき、良い方法がないか考えあぐねるときには、ぜひ中小企業診断士にお声がけください。事例のように親身に対応させていただきます。皆さまにとって少しでも中小企業診断士というイメージが熟成できれば幸いです。